

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立喜連西小	学校	児童数	54
----------	----	-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.54	20.96	31.42	40.79	53.00	9.74	146.29	20.63	52.33
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.77	21.20	36.04	38.84	44.96	9.76	142.56	13.80	55.75
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

体力合計点を大阪市平均と比較すると、男子が0.69ポイント下回り、女子が1.78ポイント上回る結果となった。令和6年度と比較して男子は1.00ポイント、女子は1.43ポイント上昇している。種目別では男女共に、握力、上体起こし、20mシャトルランが全国及び大阪市平均を上回ることができた。男子は、特に長座体前屈が低く、また立ち幅とびやソフトボール投げが、昨年度と同様に課題であることがわかった。一方、女子は、長座体前屈に課題があり、50m走が少し下回っているが、そのほかの種目については全国・大阪市平均を上回っており良好な結果となった。

児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において、男子は肯定的な回答が95.9%、女子が76.9%であり、男子は全国・大阪市平均を上回っており、女子は全国・大阪市平均から8%程度、下回る結果となった。また「体育の授業は楽しいですか」の項目において肯定的な回答が、男子が95.9%、女子が92.3%と、ほとんどの児童が楽しいと回答しており、体を動かすことに対する肯定的な気持ちは高い傾向にあることがわかった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子10%（大阪市11.7%、全国9.8%）女子19.2%（大阪市20%、全国17.3%）となっており、女子が高い傾向になった。男女ともに大阪市平均には及ばないが全国平均は上回る結果となった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に、肯定的に答える児童の割合は女子が8割弱と少し低いが、男子は9割以上を占めており、運動やスポーツに対する意欲は高い。本校では、学習意欲の向上と集団づくりをめあてとした体育科学習や、なわとび週間などの運動習慣を目的とした取り組みをしており、そのことが「体育の授業は楽しいですか」の項目に対する肯定的な意見にもつながったと考える。また、体を動かすことの重要性を理解している児童も多い。

「できなかったことが、できるようになったとき」に「楽しい」と感じる児童が多く、今後も、集団の中で協働し、意欲的に学習を楽しみながら取り組むことができる体育科学習や、発達段階に応じた目標をもって運動に取り組んだり、自身を振り返ったりする授業づくりをしていく必要がある。そのなかで、課題である柔軟性を高めることができる準備運動を取り入れていく。また、家庭との連携を深めながら、基本的な生活習慣を身につけさせるよう啓発を続けていく。